

広島市植物公園 見どころ案内

アナベル

(アジサイ科)
北米原産のアジサイ。純白の花は大きく、育てやすいことから庭植えにお勧めの品種です。うらら池沿いにたくさん植えています。

2019年6月29日
通巻第421号

展示会のご案内

- ◇展示資料館 1F (6/15~7/24)
冬虫夏草と昆虫展
- ◇展示温室 (6/19 ~7/15)
夏のカラフルリーフ展

ヤブレガサ (キク科)

県内では、山野の林床(沿岸部では稀・山間部には多い)に分布しています。和名は芽吹き時の葉姿が破れた傘に見えることから。新芽は山菜としても有名です。大きな葉は林床で少ない光を効率的に捉えるための工夫です。

ダシリリオン (キジカクシ科)

米国~メキシコの乾燥地帯原産。植物公園では4年ぶり、5回目の開花になります。5mにもなる花穂を上げています。葉には丈夫な繊維があり、屋根やかご、ロープの原料になります。

オウコチョウ (マメ科)

西インド諸島原産。黄色と橙色の花が満開で、果実(さや)もついています。沖縄三大名花の一つです。

グロリオサ

(イヌサフラン科)

熱帯アジア~アフリカ原産の植物で、つる性でユリに似て反り返った花を咲かせる球根植物です。有毒で、球根の誤食による死亡例もあります。

アエスクルス・パルビフローラ

(トチノキ科)

北アメリカ原産の小型のトチノキの一種。白い花が木を覆いつくすほどたくさん咲いています。

クサレダマ

(サクラソウ科)

湿地に群生する多年草。黄色い花が円錐状に咲いています。名はマメ科のレダマに似て草本だから。

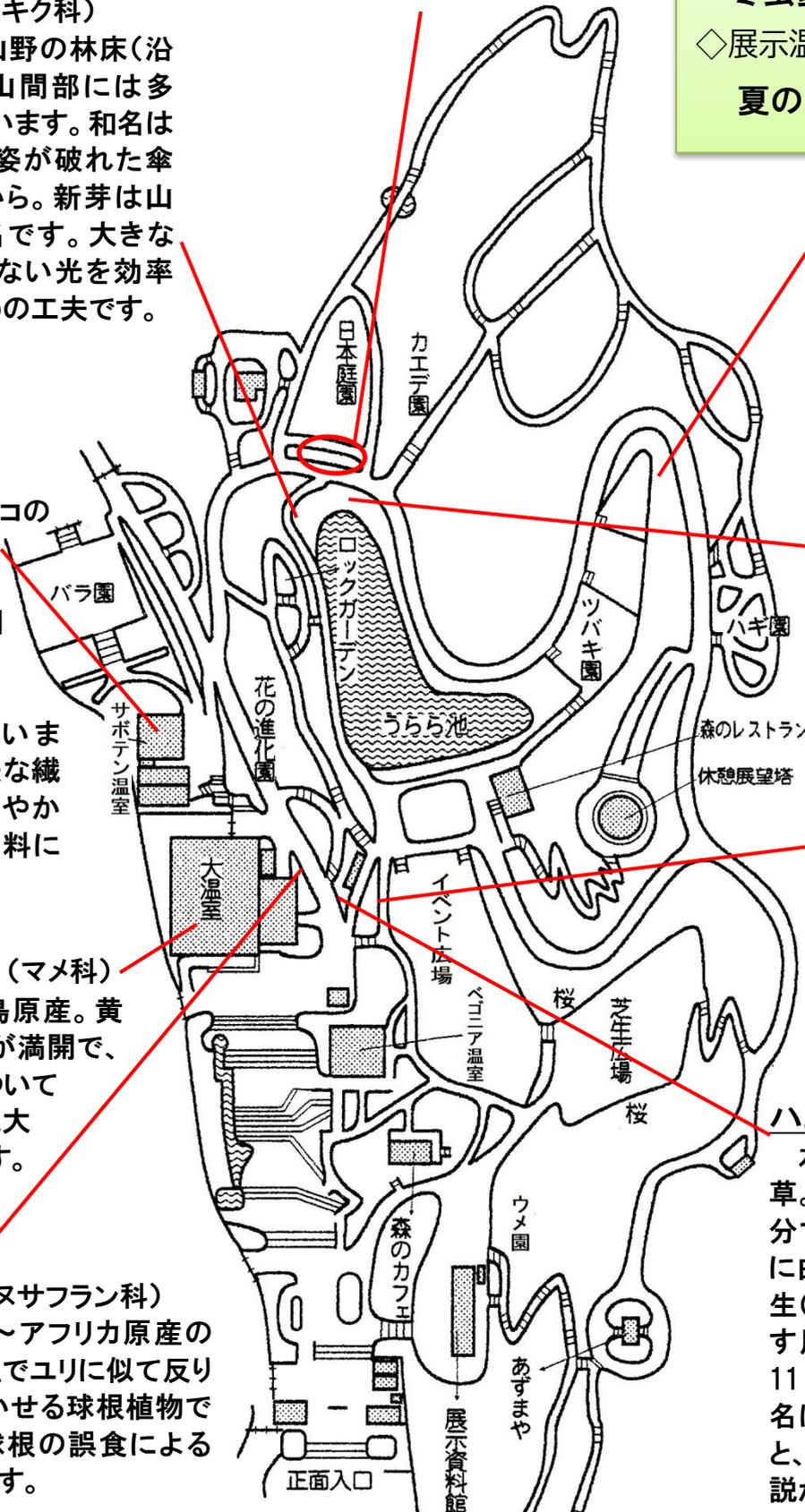
スズランノキ

(ツツジ科)

北アメリカ産の落葉高木。白いスズランに似た花を咲かせています。秋の紅葉も美しく、三大紅葉樹の一つです。

ハンゲショウ (ドクダミ科)

水辺や湿地に生育する多年草。花は穂状に垂れている部分で、直前に出た葉が部分的に白くなるのが特徴です。半夏生(はんげしょう)とは季節を表す用語のひとつで、夏至から11日目(7月2日頃)を指し、名はその頃に咲くからという説と、半分白いから半化粧とする説があります。



♣毎週土・日曜日・祝日 午後1時半~3時20分は、ガイドボランティアが園内を案内します♣

♣毎月第2火曜日・第4土曜日 午前11時~は、職員による植物うんちくガイドを実施します♣